

令和7年度 第104回全国高校サッカー選手権福岡大会第二次予選要項

1. 主催 (公社) 福岡県サッカー協会
2. 共催 福岡県高等学校体育連盟 FBS福岡放送
3. 主管 福岡県サッカー協会高校部会
4. 後援 福岡県教育委員会 福岡市教育委員会 読売新聞社 スポーツ報知西部本社
5. 期日

令和5年	9月27日(土)	【一回戦	2試合	】 筑豊緑地公園球技場
	9月27日(土)	【一回戦	2試合	】 オクゼン不動産フットボールスタジアム
	9月27日(土)	【一回戦	4試合	】 福岡フットボールセンターAB
	9月28日(日)	【一回戦	2試合	】 筑豊緑地公園球技場
	9月28日(日)	【一回戦	4試合	】 福岡フットボールセンターAB
	9月28日(日)	【一回戦	2試合	】 福岡工業大学附属城東高等学校 (申請中)
	10月4日(土)	【二回戦	2試合	】 筑豊緑地公園球技場
	10月4日(土)	【二回戦	2試合	】 筑後広域公園人工芝
	10月4日(土)	【二回戦	2試合	】 福岡フットボールセンターC
	10月5日(日)	【二回戦	2試合	】 筑豊緑地公園球技場
	10月11日(土)	【三回戦	2試合	】 筑後広域公園人工芝
	10月12日(日)	【三回戦	2試合	】 小郡市陸上競技場
	10月18日(土)	【四回戦	2試合	】 オクゼン不動産フットボールスタジアム
	10月19日(日)	【四回戦	2試合	】 小郡市陸上競技場
	10月25日(土)	【準々決勝	2試合	】 小郡市陸上競技場
	10月26日(日)	【準々決勝	2試合	】 小郡市陸上競技場
	11月2日(日)	【準決勝	2試合	】 黒崎播磨陸上競技場in HONJO
	11月9日(日)	【決	勝	】 ベスト電器スタジアム
6. 会場 ベスト電器スタジア・黒崎播磨陸上競技場in HONJO・オクゼン不動産フットボールスタジアム
小郡市陸上競技場・筑豊緑地公園球技場・筑後広域公園人工芝・福岡フットボールセンター
福岡工業大学附属城東高等学校 (申請中)
7. 参加資格
 - (1) 本年度 (公社) 福岡県及び (公財) 日本サッカー協会に加盟登録された高等学校のチームで当該団体に登録された生徒であること。なお登録の確認は、試合前のメンバー表及び登録選手一覧の提出により行う。
 - (2) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校 (中等教育学校後期課程を含む) に在籍する生徒であること。
 - (3) 選手は、全国高体連に加盟した学校に在籍する生徒であること。
 - (4) 年齢は平成18年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、同一学年での出場は一回限りとする。
 - (5) チームの編成は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒の混成を認めない。
 - (6) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。
ア. 部員不足に伴う合同チーム (福岡県高等学校体育連盟会長により参加が認められた場合)。
詳細は、全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と全国高等

学校体育連盟専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」によるものとする。

- (7) ①転校後6ヶ月未満の者の参加は認めない。(外国人留学生もこれに準ずる。)
ただし、一家転住等のやむを得ない事由による場合は、サッカー専門委員会で調査し高体連会長の承認があればこの限りではない。
- ②高体連加盟チームに所属していた選手は他校において6ヶ月間は出場できない。
- ③転校の有無にかかわらず、他の連盟から高体連加盟チームに移籍する場合は上記①に準ずるものとする。ただし、この規定③の適用は当該年度内に限るものとする。③の移籍とは登録変更(抹消→新規登録)を指す。適用例を以下に示す。
- 例1. 当該年度内に登録変更を完了した場合
→登録変更後6ヶ月間は試合に出場できない。ただし、年度を越えて適用しない。
- 例2. 当該年度末に継続登録せず、登録を抹消した場合→次年度に新規登録後すぐに出場できる。
- (8) 選手は、学校長及び(公社)福岡県サッカー協会長の出場承認を受けた者とする。
- (9) 選手は、(公財)日本サッカー協会発行の登録選手一覧に記載されていること。
- (10) 外国人留学生の登録は4名までとし、試合出場は2名までとする。
- (11) その他の事項については、全国高等学校体育連盟大会開催基準要項の参加資格に準ずる。
- (12) 参加資格の特例
- ①上記(2)(3)に定める生徒以外、(1)(4)~(10)の大会参加資格を満たし、かつ福岡県高等学校体育連盟が承認した生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
- ②上記(4)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は3回限りとする。
- ③学年の区分を設けてある課程に在籍する生徒の出場は、3学年までとする。

【大会参加資格別途に定める規定】

- 1、選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
- 2、以下の条件を具備すること。
- (1) 大会参加資格を認める条件
- ①全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- ②参加を希望している専修学校及び各種学校にあっては、学齢・修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
- ③各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
- ④各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
- (2) 大会参加に際し守るべき条件
- ①全国高校サッカー選手権大会要項を遵守し、大会申し合わせ事項に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
- ②大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- ③大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
- ④試合会場には必ず登録選手一覧を持参し、出場する選手の確認を行うこと。

8. 競技規則

- (1) 2025/2026(公財)日本サッカー協会競技規則による。
- (2) 試合ごとの登録は20名以下とし、前半・後半を通して必要ある場合は、最大9名の交代要員から

5名に限り交代できる。

※脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次の通りとする。

- ① 脳振盪またはその疑いのある選手の交代(以下「脳振盪交代」という)は、通常交代に含まれない。
- ② 脳振盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する枠に記入し、主審・第4の審判員に知らせなければならない。
- ③ 脳振盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
- ④ 脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1名1回の交代を追加で得ることができる(以下、これに基づく交代を「追加交代」という)。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および追加交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
- ⑤ 1試合における各チームの脳振盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする。

※選手交代回数の制限

- ① 試合中の選手交代回数は3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能)
 - ② ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルでの選手交代は、交代回数として含まれない。
 - ③ 延長戦が行われる場合、さらに1名かつ1回の交代を追加で行うことができる(直前の70分間と合わせて最大6名かつ4回の交代が可能となる)。延長戦開始前および延長戦ハーフタイムの交代は、回数に含まれない。
- (3) ベンチ入り役員は6名以内とする。
 - (4) 本大会において退場を命ぜられた選手は、次の一試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
 - (5) 本大会中、警告を2回受けた者は、次の一試合に出場できない。ただし、四回戦をもって累積警告はリセットされる。

9. 引率・監督について

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(地方公務員法第22条の2に示された者)も可とする。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

10. 競技方法

- (1) 本大会は、第一次予選で勝ち上がった24チーム及び第一次予選を免除された16チームのシードチーム、計40チームによるトーナメント方式により優勝を決定する。なおプレミアリーグ・プリンスリーグ九州(1・2部)所属チームについては、リーグ戦の日程を考慮した回戦からの出場とする。
- (2) 試合時間は80分とし(40分ハーフ)、勝敗の決しない場合は20分を限度とした延長戦で勝敗を決する。なお決しない場合はPK戦により次回戦進出チームを決定する。
ハーフタイムのインターバルは、原則として10分間とする。決勝戦についても同じ方法により福岡県代表を決定する。

11. 参加申込み

※出場選手はフリーエントリーとする。ただし、プログラムに記載された選手の背番号は他の番号には変更できない。

【プログラム用 申込みについて】

※スタッフ、選手の写真はデータで入稿すること。別添の記入マニュアルを熟読すること。

- (1) 参加申し込みは、引率教員・監督等及び選手30名以下とする。
背番号は1～25番までの為、5名の追加選手は番号なしで申し込むこと。

- (2) 【プログラム用】二次予選参加申込書は、(公社)福岡県サッカー協会のHPよりダウンロードし、シート[01基礎データ][02参加申込書A][03参加申込書B]を作成して、以下のアドレスに9月2日(火)までに送信すること。(※プログラム作成のため厳守)また、同時にユニフォーム(FP・GK)の正・副両方の写真(シャツ・ショーツ・ソックス全てが写っているもの)も送信すること。

◎送信先アドレス 104tnmt@wested.jp

【全選手用 申込みについて】

- (3) 【全選手用】二次予選参加申込書は、(公社)福岡県サッカー協会のHPよりダウンロードし、今大会に出場する可能性のある選手の申し込みを行うこと。この原本と参加料¥10,000を9月2日(火)の代表者会議に持参し提出すること。

12. 開 会 式
及 び
組 合 せ
抽 選 会
- (1) 9月2日(火)14:00より開会式および組合せ抽選会を次の会場にて行う。
『福岡県立スポーツ科学情報センター(アクシオン福岡) 視聴覚室』
〒812-0852 福岡県福岡市博多区東平尾公園2丁目1-4 (TEL)092-611-1717
各学校からの参加者は、監督・選手1名の合計2名とする。選手は制服での参加とする。
- (2) 抽選会終了後、代表者会議を行うので、監督もしくは顧問が必ず出席すること。
- (3) 昨年度優勝の東福岡高等学校は優勝旗を持参すること。
- (4) 第1シードの飯塚高等学校サッカー部主将が選手宣誓を行う。
13. ユニフォーム
- (1) ユニフォームについては、色の異なる正・副2着(シャツ・ショーツ・ソックス・GK用共)を参加申込書に記入すること。(公財)日本サッカー協会に登録済みのものを原則とする。参加申込み後の色の変更は認めない。なお試合会場まで登録された正・副2着のユニフォームを必ず持参すること。
- (2) 背番号は、1~25までの通し番号とする。
- (3) ユニフォームの広告については、高等学校体育連盟の規則により認めない。
- (4) シャツの前面の番号は必ずつけること。またショーツの番号については、つけることが望ましい。
- (5) ソックスについて、テープまたは同様な材質のものを外部に着用する場合は、**着用する部分のソックスの色と同じものでなければならない**。(透明テープは認める)なお、バンテージ、アンクルサポーターなどはソックスの内側に着けること。
14. そ の 他
- (1) 本大会の参加に要する経費はチームの負担とする。
- (2) 本大会の優勝チームは、12月28日より首都圏で開催される第103回全国高校サッカー選手権大会に福岡県代表として出場する権利を有する。
- (3) プログラムについてはチームとして最低の30部申し込むこと。(プログラムは各チームに3部配布する)
- (4) 要項記載事項に違反し、その他不都合な行為があった場合は、大会規律・フェアプレー委員会の裁定に従うものとする。
- (5) 出場各チームは代表連絡者をたて8月29日(金)までに事務局(古川)まで下記内容をメールすること。
送信内容 → ①学校名 ②代表連絡者名 ③携帯電話番号
送信先 → 事務局メールアドレス **fks-jimukyoku@outlook.jp**
- (6) 今大会の決勝を含め全試合の試合球は〈ミカサ ALMUNDO FT550D〉を使用する。